

博多漁港 流通構造改革拠点漁港整備事業の概要

1. 趣 旨

水産物の品質・衛生管理の高度化及び生産の効率化・集出荷能力向上により、水産物の消費拡大並びに産地の競争力強化を図るものである。

2. 事業内容

博多漁港において、ソフト施策と連携しつつ、品質・衛生管理の高度化や生産・流通の効率化に資する施設整備を実施

安全・安心な水産物の安定供給という消費者ニーズに応えるため、陸揚げから出荷に至る一連の生産作業を通じて高度な品質・衛生管理対策の推進を図る。

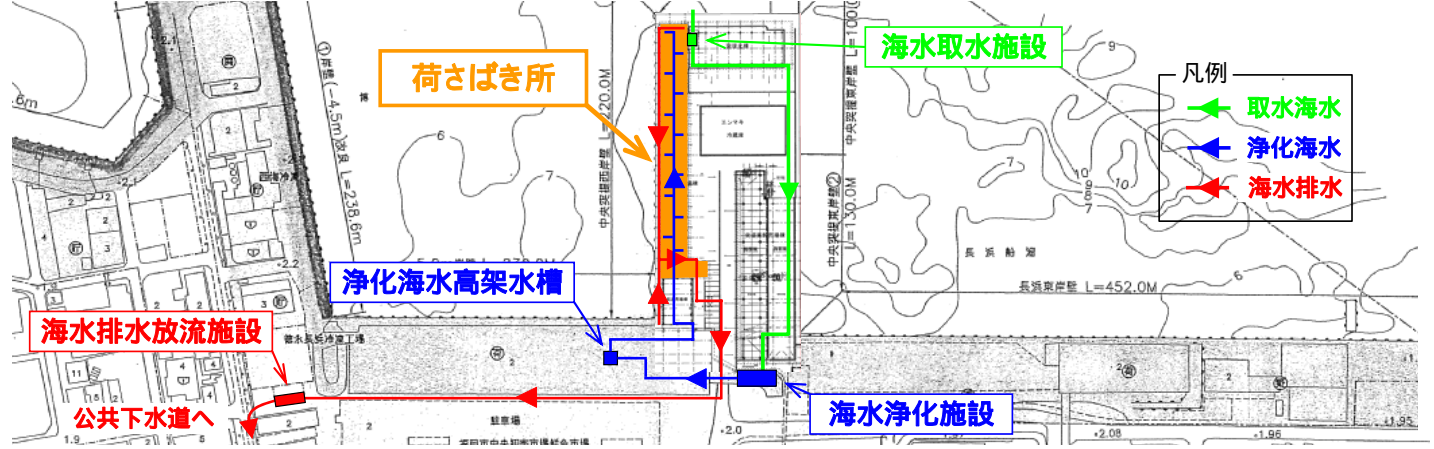
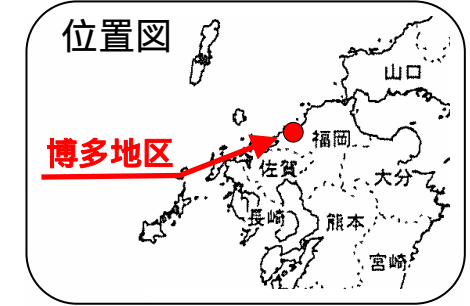
これら衛生管理及び機能向上に関する情報を消費者に発信することで、全国ブランドとしての知名度を向上させるなど、水産物の消費拡大及び産地の競争力強化を図る。

	事業期間：H20～H22 事業主体：福岡市
事業内容	荷さばき所 1棟 等

博多地区流通構造改革拠点漁港整備事業(福岡市)

- 特定第3種博多漁港 -

【現状と課題】
 博多漁港は、中央卸売市場である鮮魚市場を内含することにより、産地市場機能と消費地市場機能の二つの機能を有する漁港である。取扱数量については、近年は13万トン前後で推移しており、減少傾向ではあるものの、依然として全国有数の取扱数量を誇っている。
 消費者ニーズに応え、安全・安心な水産物を安定供給することにより、水産物の消費拡大を図るとともに、福岡都市圏の食を支える生鮮水産物流通拠点漁港として、これまでに整備している海水取排水施設や浄化施設を活用した衛生管理型荷さばき所を整備することで、近年の取扱数量減少など水産物を取り巻く社会情勢の変化に対応しつつ、産地の競争力強化を図っていく必要がある。



【計画方針】
 安全・安心な水産物の安定供給という消費者ニーズに応えるため、陸揚げから出荷に至る一連の生産作業を通じて高度な品質・衛生管理対策の推進を図る。あわせてこれら衛生管理及び機能向上に関する情報を消費者に発信することで、全国ブランドとしての知名度を向上させるなど、水産物の消費拡大及び産地の競争力強化を図る。

計画内容
 事業時期 : H20 ~ H22
 実施主体 : 福岡市
 事業内容 : 荷さばき所 等

